

三菱パイプ用ファン

〈**屋外設置式** フード一体形ファン〉

形名

浴室・トイレ・洗面所用

V-08PPRD₂

据付説明書

販売店・工事店様用

別冊の取扱説明書は「お客様用」です。必ずお渡してください。

据付けを始める前に、必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。
(間違った据付工事は故障や事故の原因になります)
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は屋外用です。
- トイレ・洗面所の二部屋換気で使用する場合、外風の吹き付けの強い場所で使用しますとトイレの臭いが逆流するおそれがあります。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

形名	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-08PPRD ₂	速結端子	●塩化ビニル管…VP、VU (呼び径 100mm) ●鋼板管 (内径 100mm)	●木ネジ …2本

1. 安全のために必ず守ること

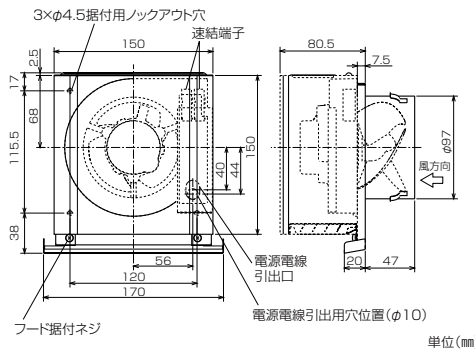
●図記号の意味は、次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		指示に従う
--	----	--	-------	--	------	--	-------

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p> 水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因。 	<p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない 火災の原因。 ●塩害、温泉害の発生している場所には据付けない 落下によるけが・漏電 (感電) の原因。
<p> 分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因。 	<p> 指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は必ず電気工事店に依頼する 感電や火災の原因。 ●据付けの際は必ず手袋を着用する 着用しないおそれの原因。 ●部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。 ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因。 ●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。 ●据付け後、長期間ご使用にならないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
<p> 指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電気的に接触しないよう据付ける 漏電・発火の原因。 ●外気取入口は、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に設ける 室内の酸欠の原因。 ●交流 100V を使用する 直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。 	

2. 各部のなまえと外形寸法図



付属部品

木ネジ……………2本
(φ3.5×32、ステンレス製)

適用パイプ

- 塩化ビニル管 …VP、VU (φ100)
- 鋼板管 (内径 100)

3. 据付け前のお願い

- 室外温度が常時 40℃以上になるところには据付けないでください。
(モーターの寿命が短くなる原因になります)
- 搬送空気の温度が 50℃以上になる場所では使用しないでください。
(モーターの寿命が短くなる原因になります)
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
- 効果的な排気を行うために給気口を設けてください。
- 十分強度のあるところに据付けてください。
- 有機溶剤や酸・アルカリ洗剤が直接触れると塗装の剥離や製品各部の変色、発錆の原因となります。製品据付け後、外壁の吹付け塗装や酸洗いを実施する場合は、有機溶剤が製品に触れないように、必ず養生をしてください。また、養生は必ずした後は、必ず製品を水洗いしてください。

4. 据付方法

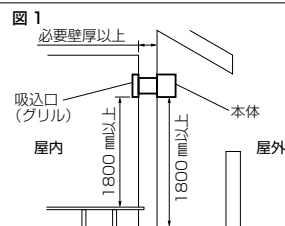
1. 据付け前の準備

1. 据付け場所を決めて壁穴をあける。

- 必要壁厚に応じて接続パイプの長さを決めてください。
参考：P-13GL6 (吸込口グリル) 使用の場合

必要壁厚 (101mm) ≥ 本体埋込寸法 (47mm) + グリルのパイプ接続部 (50mm) + 余裕 (4mm)

- 本体および吸込口 (グリル) は図 1 のメンテナンス可能な位置に据付けてください。
- フードを取りはずすために、パイプ中心から天井までの距離を図 2 のように確保してください。
※点検・修理は屋外側からとなりますので、特別な足場等が必要となる場合は、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。

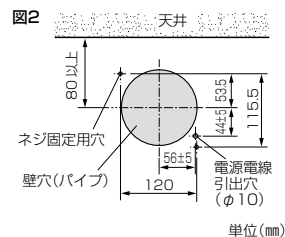


2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。

- 接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施す。
(天井吸込の場合図 3 のダクト工事をする)

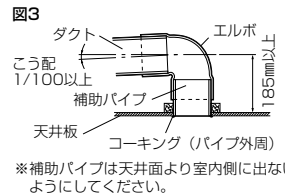
お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に 1/100 以上の下りこう配をつけ、固定してください。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込んでください。



3. ネジ固定用の穴をあける。

- 外壁に図 2 のように下穴を 2 か所あけてください。
※コンクリート壁に据付ける場合は φ3.5×32 の木ネジ対応のカールプラグを使用し、指定の下穴を図 2 の位置にあけてください。



2. 電気工事

警告

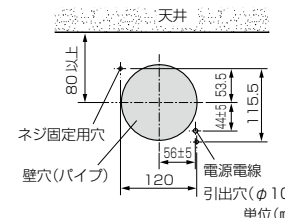
- 交流 100V を使用する
直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。

注意

- 電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令 (及び同解説)」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する
感電の原因。

1. 電源電線を右図の電源電線引出穴から屋外へ引出す。

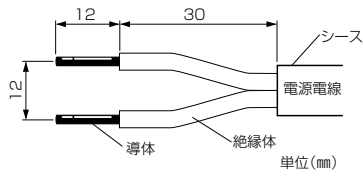
- 電源電線は VVF2 芯、φ 1.6 をご使用ください。



4. 据付方法 つづき

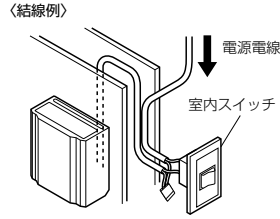
2. 電源電線の先端を下図に合わせて皮むきする。

- 端子への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため、皮むき寸法を必ず守ってください。



3. スイッチ設置工事をする。

- 市販のスイッチを使用する場合は適切なスイッチ（低ワット（定格0.5A）用）を選定して結線してください。



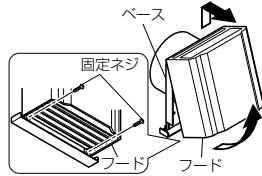
3. 本体の据付け

お願い

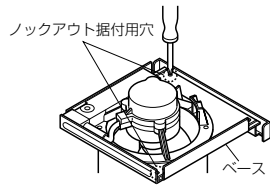
- 壁とダクトの間に防水工事がされていることを確認してください。

1. フード下部にある2本のフード固定ネジを取りはずし、フードを手前に持ち上げて取りはずす。

- ※ネジは着磁したドライバーに付かないため紛失に注意してください。

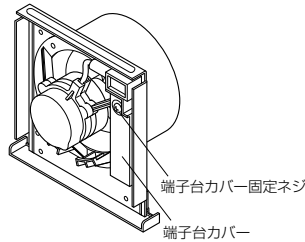


2. ベースのロックアウト据付用穴3か所のうち対角の2か所をドライバー等で抜く。



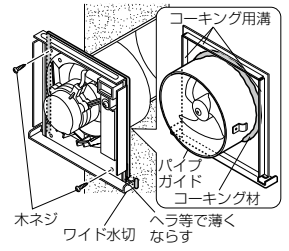
3. 電源電線を速結端子に差し込む。

- ①電源電線を下図のように曲げる。
- ②端子台カバー固定ネジをゆるめて、端子台カバーを開く。
- ③電源電線を電源電線引出口に通し、速結端子に差し込む。
※電源電線を差し込む際、シース部を持って、押し込むようにすると入りやすくなります。
※電源電線を軽く引っ張って速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- ④端子台カバーを元通り閉じて、確実にネジを締める。



5. 開口部が下側になるようにして、外壁まで配管されたダクトに差し込み、付属の木ネジ（2本）で確実に固定する。

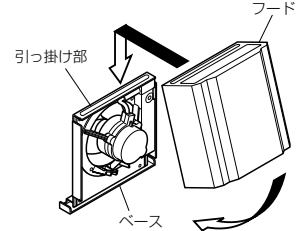
- ※電源電線により端子台カバーに浮きがないことを確認してください。
- ※端子台カバーが浮く場合は、端子台カバーを開けて、電源電線を壁内に押し込んだ後、端子台カバーを閉じてください。



6. ベースの上部と側面部のコーキング用溝全体に、市販のコーキング材で外壁部の防水処理を施す。

- ※図のようにワイド水切の端部はコーキング材を薄くし、ヘラ等でならして防水処理をしてください。
- ※コーキングをする際にコーキング用溝以外にコーキング材が付着しないように注意してください。

7. フードをベース上部に引掛け、フード下部にある2本のフード固定ネジで固定する。



4. 室内側吸込口の据付け

室内側に別売システム部材または市販の吸込口（グリル）を据付ける。

- 吸込口（グリル）の据付けは吸込口（グリル）の据付説明書の指示に従ってください。

5. 据付け後の確認

据付けが終了した後、ベースとフードが確実に据付けられているか確認する。

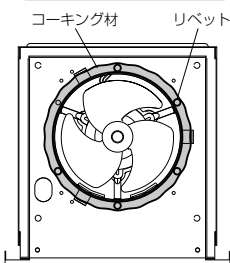
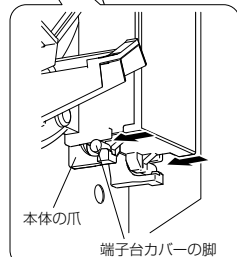
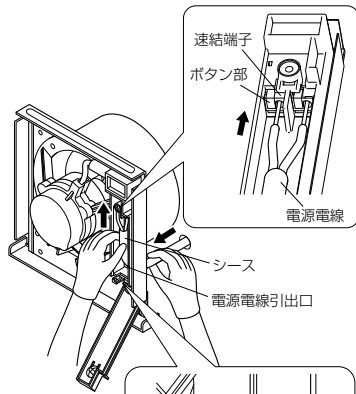
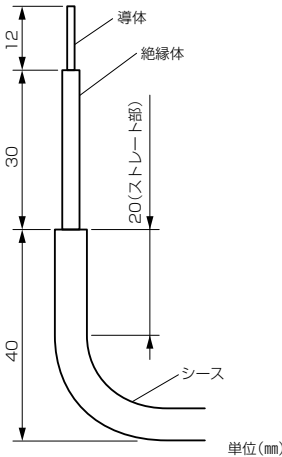
6. 試運転

お客様立ち会いで試運転を行ってください。

- 室内スイッチの入・切で換気扇が運転・停止するか確認してください。
- 異常な音・振動などがないかを確認してください。

7. お客様への説明

別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様または発注者（オーナー、ゼネコン）や管理者へ説明してください。



お願い

- 電源電線の皮むき部分が露出しないように差し込んでください。（ショート等の原因になります）
- 電源電線を速結端子よりはず場合は、ボタン部を押しながらゆっくり電源電線を引き抜いてください。
- 端子台カバーが外れてしまった場合、右図のように端子台カバーの脚を本体の爪に固定してください。
※カバーを確実に固定しないと、感電や火災の原因となります。

4. パイプガイドに市販のコーキング材で防水処理を施す。

- ※コーキング材はリベットが隠れる程度（厚みは10mmを目安）施してください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号